

国連インターネットガバナンスフォーラム (IGF)

—マルチステークホルダー諮問グループ (MAG) の活動について—

ヤフー株式会社
コーポレートインテリジェンス本部政策企画部
望月 健太

I. 概要



1. マルチステークホルダー諮問グループとは

- 国連IGFのマルチステークホルダー諮問グループ（MAG）とは、2006年に国連事務総長が立ち上げたIGFの諮問グループ。

(1) 2006年以降、1年に1度開催されているIGFのプログラムやスケジュールに関し、事務総長に助言。定期的に会合を行い、数百にも及ぶプログラムの選考等を実施。

(2) MAGは、世界各国のステークホルダー・グループ（政府、アカデミア、市民社会、企業、技術コミュニティ）や性別、地域などのバランスを考慮し、約55名の代表メンバーによって構成。

※2017年時点のメンバー：

<https://www.intgovforum.org/multilingual/content/mag-2017-members>

【参考】インターネットガバナンスフォーラム（IGF）とは、2005年の「チュニス・アジェンダ（Tunis Agenda for the Information Society）」によって国連の下に設けられたもので、さまざまな利害関係者（マルチステークホルダー）がインターネットに関する公共政策課題を議論するために、2006年以降毎年1回開催されているもの。なお、意思決定は行われない。

2. MAGメンバーはいかにして選出されるか

- MAGメンバーは、最終的には国連の事務総長によって選出（経済社会局（DESA）が取りまとめ）。応募は自由。通常はインターネットガバナンス分野で有力な各ステークホルダー・グループ（インターネット協会（ISOC）や国際商工会議所（ICC/BASIS）等）からの推薦が必要。
- 任期は**原則1年**，毎年の評価によって2年まで自動更新可能（つまり任期は最大で3年）。但し，実務的には特段の理由がない限りほぼ**全員3年任期**の様様。
- MAGメンバー選挙は，基本毎年実施。但し詳細な選考プロセスは原則非公開。選挙にあたっては，**個人の資質や地理的代表性**が重視。
- 2017年現在のMAG議長は，**St. Amour, Lynn氏**（米国・CEO, Internet Matters）。



3. 日本人MAGメンバー

- 日本からの歴代MAGメンバーは以下のとおり（過去3名）。

- 2014-2016 奥谷泉氏

- ⇒日本ネットワークインフォメーションセンター（JPNIC）・インターネット推進部／IP事業部。



- 2012-2014 会津泉氏

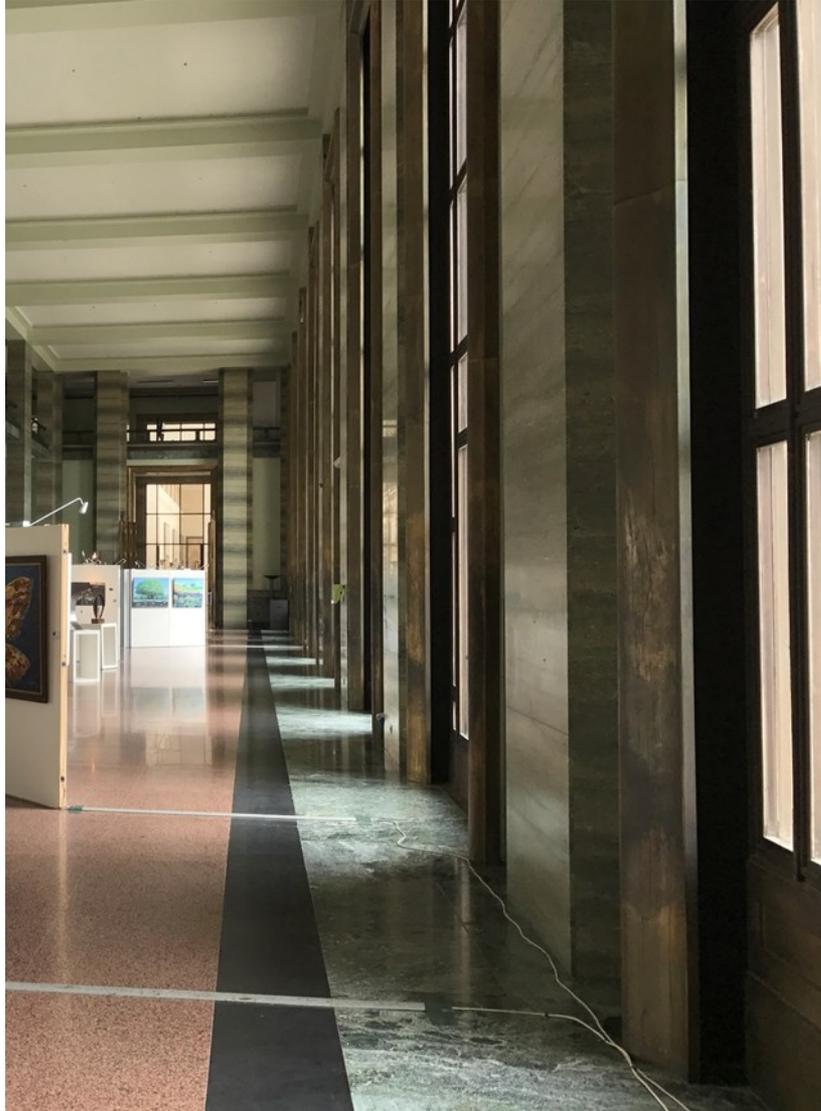
- ⇒多摩大学情報社会学研究所教授・主任研究員。



- 2006-2012 加藤幹之氏

- ⇒Xinova社上級副社長兼日本総代表。





II. 任 務

1. MAGメンバーの任務

■ 付託事項 ([Terms of Reference](#))

- (1) 1年に2～3度開催されるMAG会合に出席
- (2) 1年に1度開催されるIGFに出席
- (3) 会期間活動（電話会議（Virtual Meetings）を含む）に参加
- (4) インターネットガバナンスに関するアウトリーチ活動
- (5) IGF信託基金（trust fund）への寄付の模索
- (6) インターネットガバナンスに関する新たな課題や論点を特定し、研究や勧告を実施

※MAG会合では、「チャタムハウスルール（Chatham House Rule）」、「ラフコンセンサス（rough consensus）」が採用。

2. IGFプログラム委員会として

- 年に1回開催されるIGFのいわば「プログラム委員会」として、主に以下の作業を行う：

①MAGメンバーはセッションオーガナイザーにはなれないが、他セッションへの登壇は可能。

① 一次審査：IGF事務局によるスクリーニング

② 二次審査：各MAGメンバーによる個別の採点作業（1件12名）

③ 最終審査：MAG会合での最終選考
（採用するセッション、条件付または合同開催とするセッション等を平場で議論）

①MAG電話会議やMAG会合で議論

①セッション提案書の募集
②選考プロセスの確定

3. ワーキンググループと会期間活動

- MAGは年一度の議論に加え，継続的に議論を積み上げる活動にも従事。
 - (1) **ワーキンググループ (Working Groups: WGs)**
⇒ 特定の問題についてより少人数のMAGグループで検討。
 - (2) **会期間活動 (Intersessional Activities)**
 - ⇒ **ベストプラクティスフォーラム (Best Practice Forums: BPFs)**
2014年以降に開始。新たなトピックやテーマに関するプロジェクト形式の作業。MAGイニシアティブ。
 - ⇒ **「Policy Options for Connecting and Enabling the Next Billion(s)」**
コネクティビティーに関するプロジェクト。2015年（フェーズI），2016年（フェーズII）と実施（※2017年（フェーズIII）も実施決定）。MAGイニシアティブ。
 - ⇒ **ダイナミックコアリッション (Dynamic Coalitions: DCs)**
特定の問題に関する非公式グループ。IGF枠内の会期間活動。
 - (3) **国別・地域別イニシアティブとの協力 (National and Regional Initiatives: NRIs)**

3. ワーキンググループと会期間活動

■ ワーキンググループの具体例（※2017年7月現在）

・ 2016年のWGs（4つ）

- (1) WG on Main Sessions (WGMS)
- (2) WG on Workshop Review and Evaluation Process (WG-WREP)
- (3) WG on New Session Formats (WGSF)
- (4) WG on Outreach and Communication (WGCO)

・ 2017年に承認された新規・継続WGs（5つ）

- (1) WG on Outreach and Communication (WGCO)
- (2) WG on IGF Improvements (WG-IMP)
- (3) WG on Multi-Year Strategic Work Programme (WG-MSWP)
- (4) WG on New Session Formats (WG-NSF)
- (5) WG on Workshop Review and Evaluation Process (WG-WREP)

3. ワーキンググループと会期間活動

■ ベストプラクティスフォーラムの具体例（※2017年7月現在）

・ 2016年のBPFs（4つ）

- (1) BPF on IPv6 ※2015年から継続，2016年で終了。
- (2) BPF on IXPs ※2015年から継続，2016年で終了。
- (3) BPF on Gender and Access ※2015年のものから名称変更。
- (4) BPF on Cybersecurity ※2016年から。2014-2015 BPFs on SPAM and CERTSの後継。

・ 2017年に承認された新規・継続BPFs（3つ）

- (1) [BPF on Cybersecurity](#)
- (2) BPF on Gender & Access
- (3) BPF on Local Content

4. 最近の活動

【MAG会合】

- ・ 第一回：3月 2日～ 3日
- ・ 第二回：6月12日～14日

【MAG電話会議】

(※8時間毎のローテーション)

- ・ 第一回：3月14日
- ・ 第二回：3月28日
- ・ 第三回：4月11日
- ・ 第四回：4月25日
- ・ 第五回：5月 9日
- ・ 第六回：5月23日
- ・ 第七回：6月 9日
- ・ 第八回：7月 5日

+α.
メーリングリスト
を通じた議論

【IGF Geneva 2017 : "Shape Your Digital Future!"】

・ 12月18日～21日@スイス・ジュネーブ

参 考



■ ワーキンググループ（Working Groups: WGs）

⇒2006年のIGF開始以降，MAGは，その付託事項（Terms of Reference）に規定された任務を果たすべく，特定の問題に関するWGsを設置。

【主なポイント】※現在，ガイドライン策定中。

●ある特定の論点についてより小規模のグループで議論すべき場合，MAGメンバーはWGsの設置を提案。

●ワーキンググループの設置には，提案書の提出，MAGのコンセンサス，議長の承認が必要。

- ・MAGメンバー以外の利害関係者も参加可能。
- ・作業方法は自由。モダリティはコンセンサスで決定。
- ・IGF事務局も参加。
- ・原則1年間で，毎年継続が承認される必要。
- ・具体的な進展が見られない場合は解散。

■ ベストプラクティスフォーラム（Best Practice Forums: BPFs）

⇒「国連開発のための科学技術委員会（CSTD）・IGFの改善に関するワーキンググループの報告書」（2012年）の勧告に従い、2014年以降実施されているプログラム。

【主なポイント】※現在、ガイドライン策定中。

● 新たなトピック・テーマ・論点について、MAGメンバーが提案可能。

● 提案書を提出する必要があるが、それはMAGメンバー又はその他のIGFコミュニティーの者が提出可能。

- ・ 毎年レビューされるが、継続したい場合は前年の活動に関する報告書と翌年の活動に関する提案書を提出する必要。
- ・ 具体的な進展が見られない場合には解散。
- ・ 年次のIGFの場でその成果を報告する機会が付与。
- ・ 作業方法は自由。モダリティについては透明性ある方法で決定。

- **Policy Options for Connecting and Enabling the Next Billion(s)**
⇒ 「国連開発のための科学技術委員会（CSTD）・IGFの改善に関するワーキンググループの報告書」（2012年）の勧告に従い、2015年から開始された会期間活動。
- これまで、2015年（フェーズI）、2016年（フェーズII）と実施されており、2017年（フェーズIII）も実施決定。
- 具体的には、NRIs、DCs、BPFs等のIGFの活動の影響力を強化するためのもので、提出されるサブミッションからなる。

※詳細については、以下のリンク先を参照。

<http://www.intgovforum.org/multilingual/content/policy-options-for-connecting-and-enabling-the-next-billions-phase-ii>

■ ダイナミックコアリッション (Dynamic Coalitions: DCs)

⇒2006年のIGF開始当時から複数設置されているもので、特定の問題に関する非公式のグループ。それぞれのDCメンバーはMAGメンバーに限定されておらず、誰でも参加可能。

【主なポイント】

●関心を有する個人は、まず会合を開き、DCの設置の意思を表明する必要。その際、書面のステートメント作成する必要。

- ・ウェブサイトやブログの立ち上げが推奨されている。
- ・DCを設置する際は、IGF事務局に連絡。IGF事務局がDCとみなすか否かを審査。
- ・DCは、「Dynamic Coalition Coordination Group ToR」に規定されたガイドラインに従って活動。
- ・年次報告書やテーマ別のペーパーをIGF事務局に提出する必要。

■ ダイナミックコアリッション (Dynamic Coalitions: DCs)

● DCコーディネーショングループ (DCCG)

⇒2015年の第10回IGFで提案され設置されたもの。各DCの代表者がメンバーとして入るもので、毎月の定例会合に参加。このグループの会合には、各DCの代表者のみならず、DCのメンバーも自由に参加可能。

・ DCCGの任務やメンバーの活動については、以下のリンク先を参照。

<http://www.intgovforum.org/multilingual/content/dc-coordination-activities>

■ 現在アクティブなDCs (※2017年7月現在)

- DC on Accessibility and Disability
- DC on Accountability
- DC on Blockchain Technologies
- DC on Child Online Safety
- DC on Community Connectivity
- DC on Core Internet Values
- DC on Freedom of Expression and Freedom of the Media on the Internet
- DC on Gender and Internet Governance
- DC on Innovative Approaches to Connecting the Unconnected
- DC on Internet and Climate Change
- DC on Internet Rights and Principles
- DC on Network Neutrality
- DC on Platform Responsibility
- DC on Public Access in Libraries
- DC on Publicness
- DC on the Internet of Things
- DC on Trade
- Youth Coalition on Internet Governance

※最新の情報については、以下のリンク先を参照。

<http://www.intgovforum.org/multilingual/content/dynamic-coalitions-4>

■ 国別・地域別イニシアティブとの協力（National and Regional Initiatives: NRIs）

⇒NRIsとは、「National, Sub-Regional, Regional and Youth IGF initiatives」の略語。IGF開始以降、さまざまな国・地域で独自のインターネットガバナンスフォーラムが設置・開催。

・NRIsは、必要な情報が記載された書面のステートメントをIGF事務局に提出することによって、IGFウェブサイトに登録NRIsとしてリストアップしてもらうことが可能。

・定期的にコーディネーション会合（現地およびオンライン）が開催。

・国別・地域別・ユースのIGFについては、以下のリンク先を参照。
<http://www.intgovforum.org/multilingual/content/igf-regional-and-national-initiatives>

■ IGF事務局の担当者

● Mr. Chengetai Masango
(IGF Programme and Technology Manager)



● Ms. Eleonora Anna Mazzucchi
(Programme Management Assistant)



● Ms. Anja Gengo
(Consultant)



※この他, Mr. Luis Bobo, Associate Information Systems Officer。



ヤフー株式会社
コーポレートインテリジェンス本部 政策企画部

〒102-8282 東京都千代田区紀尾井町1-3
東京ガーデンテラス紀尾井町 紀尾井タワー